

奈良県外来種リスト-奈良県で注意すべき動植物- 概要

奈良県レッドデータブック改訂委員会の検討体制のもと、文献や標本による生息・生育情報の確認や現地調査による情報の集積などを行い、平成25年度から3ヶ年をかけて外来種の選定・評価の検討が行われてきた。

1 外来種リスト作成の目的

生物多様性なら戦略（平成25年3月策定）の第1の目標である生物多様性の保全と再生に向けた具体的な取組として、外来種の侵入状況を明らかにし、外来種の問題について普及啓発するために作成。

2 外来種リスト作成の経緯

【平成25年度】・奈良県レッドデータブック改訂委員会及び同分科会を設置

・文献・標本調査開始

【平成26年度】・現地調査開始、選定基準等の検討

【平成27年度】・外来種リスト案の作成（選定基準に基づき作成）

3 外来種リスト作成の概要

原則として、明治時代以降に奈良県に人為的に侵入した種について、定着種と記録種に区分して選定した。

●定着種

奈良県において繁殖をしている種

●記録種

奈良県において確認された記録はあるが、繁殖が確認されていない種

4 外来種リストの記載概要

●外来種の数

647種（哺乳類9種、鳥類5種、爬虫類14種、両生類1種、魚類31種、昆虫類91種、その他無脊椎動物15種、維管束植物481種）

●区分毎の種の数

定着種：619種

記録種：28種

●主な外来種

アライグマ（哺乳類）

ソウシチョウ（鳥類）

ウシガエル（両生類）

オオクチバス（魚類）

セアカゴケグモ（その他無脊椎動物クモ目）

オオキンケイギク（維管束植物）

●補足情報

- ・選定種のうち、奈良県において特に注意すべき外来種について概要を説明。
- ・環境省の外来生物被害予防原則「入れない、捨てない、広げない」に沿って、具体的な予防方法を記載。

5 その他

今後の予定

- ・奈良県レッドデータブック改訂版および奈良県野生生物目録については、平成28年度に策定予定。